

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和2年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和2年度決算	次年度取組予定
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実							
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進							
(1) 子供のスポーツ活動の推進							
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の推進 親子体力づくり大会	毎年体育の日に未就学の子供とその保護者を対象に、親子体操・リズム体操・器具を使った体操など行う。親子体力づくり大会を開催します。親子で運動遊びを楽しんでもらうことにより、運動に親しむ機会をつくります。家族で体を動かすことに関心を持ち、運動を積極的に生活の中に取り入れてもらい、幼児期における体力づくりの推進を図ります。	スポーツ振興課	文化の日に市民体育館で開催した。コロナ禍での開催であり、密を避けるため50組100名定員として開催した。参加人数は例年と比較し大きく減少したが、ゆとりのある空間で各種目に時間をかけて取組むことができるなどメリットも見られたことから、競技団体と連携し今後のあり方を検討していきたい。	【親子体力づくり大会】 R2.11.3(文化の日) 参加者数 80人	開催委託料 38,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 少年スポーツ教室	小学生・中学生を対象とする柔道、剣道、陸上競技、ミニバスケットボール、ラグビー、ハンドボール、夏季少年スポーツ教室などの教室を開催します。各教室を主宰する競技団体と連携して、スポーツ教室の充実を図り、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	少年スポーツ教室(9教室)を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響によりバドミントン教室とゴルフ教室は中止となったが、参加者数は、令和元年度に比べて1,700人程度増加した。今後も、子どものスポーツ活動への参加機会の拡充を念頭に、更なるPRを行い参加を促していくと共に、新たな競技種目(ボクシング、ダンススポーツなど)を取り入れた教室を積極的に開催したい。	【少年スポーツ教室】 参加者数 12,616人 (内訳) ラグビー 1,247人 柔道 3,220人 剣道 1,218人 ハンドボール 6,300人 陸上競技 237人 ミニバス 184人 体操 154人 夏季テニス 34人 夏季空手道 22人	開催委託料 (内訳) ラグビー 48,000円 柔道 80,000円 剣道 80,000円 ハンドボール 48,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 夏季テニス 18,000円 夏季空手道 16,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 小学生を対象とする各種大会	少年野球大会、ミニバスケットボール大会、バレーボール大会、スポーツ少年団交流大会などを開催します。子ども達の体力づくりを含め、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	小学生を対象とした少年野球大会及びバレーボール大会の2大会を開催した。コロナ禍のため、これまでにない感染拡大防止対策を講じるとともに、野球大会については夏季に時期をずらしたことにより熱中症対策を施しての実施となった。そうした中でもバレーボールの参加者は前年度から増加し、野球大会については参加者はやや減少したものの6年ぶりに5年生以下で編成される2部リーグが開催されるなど、多くの小学生に実戦経験の場を提供することができた。今後も引き続き競技団体と連携した取組みを進めていきたい。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 583人 (内訳) 野球 316人 バレーボール 267人	開催委託料 (内訳) 野球 50,000円 バレーボール 15,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 スポーツ少年団運営事業	米子市スポーツ少年団の事務局として、活動の支援を行い、少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさにふれることにより、スポーツ活動を通じた子ども達の健全育成を図ります。	スポーツ振興課	各スポーツ少年団の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催した。また、競技別交流大会(軟式野球)を開催したほか、子どもの健全な指導育成を目的とした、「野球ひじ」の検診を昨年に引き続き開催し、青少年の健全育成を図った。ポッチャの知名度上昇、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度よりも他の大会への参加の機会が減少したことから、スポーツ少年団交流大会の参加者数が昨年度よりも増加したと思われる。引き続き、多くの子どもが競技種目の垣根を越えた交流が行えるよう企画運営に努める。	【スポーツ少年団交流大会】 R2.11.3 参加者数 67人 【市競技別交流大会】 軟式野球 10チーム 野球ひじの検診 169人	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実 運動部活動推進事業	中学校の運動部活動において、専門的な指導ができる顧問がいない場合等に、県が実施する外部指導者の派遣事業を活用し、運動部活動の指導の充実を図ることにより、運動部活動の活性化と競技力の向上を図ります。	学校教育課	【配置校】 東山中…女子卓球部 淀江中…男子バスケットボール部 弓ヶ浜中…男女剣道部、女子バスケットボール部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、男子バレーボール部、男女柔道部 福生中…男女バドミントン部、女子バスケットボール部 【成果】 外部指導者を活用することにより、より専門的な指導が可能になった。	実施校 5校 部活数 9	補助金事業(県と市町で1/2) 合計 821,375円 (内訳) 市費 410,688円 県補助金 410,687円	補助金事業 (県と市町で1/2)で継続 予定

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和2年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和2年度決算	次年度取組予定
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進							
(2) 成年期からのスポーツ活動の推進							
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ドッチビー大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民のだれもが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	コロナ禍のため、市外在住の参加者の多い2大会は中止し、市内在住者中心の3大会の実施により生涯スポーツの推進を図った。市民交流大会については、前年度に引き続きポッチャを実施し、前年度と比較し10%以上参加者が増加した。また、当課で行っている器具の貸し出しについて7件の実績があり、誰でも気軽に楽しめるスポーツとして徐々に浸透してきている。その他、インディアカは前年度比横ばい、スキー大会は1.5倍の参加者があるなど、生涯スポーツの推進について一定の成果があった。中止となった2大会については、今後の社会情勢を見ながら、競技団体と連携し、次年度以降の対応を検討していきたい。	参加者数 211人 (内訳) 市民レガッタ 中止 ポッチャ交流大会 84人 正月マラソン 中止 インディアカ大会 68人 市民スキー大会 59人	開催委託料 (内訳) ポッチャ大会 9,000円 市民スキー大会 36,000円	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、2大会のみ実施した。大会開催の有無については、各競技団体と協議を重ね、開催できる方法を模索したが、このような結果となってしまった。コロナ禍においても一律で大会を中止するのではなく、市内の感染状況等を見極め、可能な限り市民にスポーツを実施できる環境を提供できるよう努めていきたい。	参加チーム 12チーム 参加者数 162人 (内訳) バドミントン 6チーム・47人 野球 6チーム・115人	開催委託料 (内訳) バドミントン 42,200円 野球 37,700円	継続
I-1-(2)	体力づくり歩け歩け大会・体カテスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体カテスト会を実施します。スポーツや体力づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体力づくり歩け歩け大会】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年間12回のうち8回を中止し4回を感染症対策を徹底し実施した。中止に伴い延参加者数は大幅に減少した。また、2月には650回記念大会を開催し大会参加率の高い方々を表彰した。次年度以降も新型コロナウイルス感染状況に応じた大会運営に努め、開催する場合は感染症対策を徹底し実施する。 【体カテスト会】 新型コロナウイルス感染拡大のため前期後期ともに中止した。	【体力づくり歩け歩け大会】 4回実施 延参加者数 123人 【体カテスト会】 前期・後期ともに中止	【体力づくり歩け歩け大会】 旅費 25,500円 施設使用料 0円 【体カテスト会】 開催委託料 0円	継続
I-1-(2)	いきいき健康ライフ教室	前年度の健診結果で、特定の検査項目が要指導だった40歳から64歳の方を対象に、健康体力診断、運動プログラムの作成、運動指導、食生活や日常生活の個別指導、講義を行うことで、健康づくりを図ります。	健康対策課	新型コロナウイルス感染拡大のため、10回シリーズから7回シリーズへ変更し、開催。生活習慣の改善を支援し、特に、運動習慣を重点支援として実施した。教室参加者は、過去5年程度の間いきいき健康ライフ教室に参加された受講生を対象とした。生活習慣の振り返りを行い、運動習慣の継続実施が出来ていた。	年間7回開催 参加実人数 24人 延参加者数 143人	講師 107,800円 (15,400円×7回) 栄養士 10,200円 (3,400円×3人×1回) 看護師23,800円 (3,400円×1人×7回) 運動測定及び運動プログラム作成委託料 200,000円 (受講者20人程度の運動測定及び運動プログラム作成を7回実施、市民による健康づくりの提言作成) 通信運搬費 6,300円 消耗品費 2,640円	廃止 地域の中で自主的に継続的な運動ができる場の増加を受け、事業を廃止し、今後は各地区での健康講座や地域活動の中で、生活習慣の改善に向けた活動を行っていく

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和2年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和2年度決算	次年度取組予定
1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進							
(3) 高齢者のスポーツ活動の推進							
I-1-(3)	がいなみっく予防トレーニング（通所型運動機能向上事業）	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	健康対策課	12ヶ所のフィットネスクラブや介護保険施設で実施。がいなみっく予防トレーニング終了後も、そのまま利用した施設で一般利用につながっている方が多い。運動のきっかけづくりとしての事業目的を達成するため、新規利用者の獲得が課題。また、単に運動だけでなく、総合的なフレイル予防効果を得られるように、専門職と連携しながら内容を充実していく必要がある。	【がいなみっく予防トレーニング】 参加実人数 301人 延参加者数 3,192人 ※実施回数は、施設ごとで曜日や時間が異なるため不明	報償費 315,800円 消耗品費 68,487円 印刷製本費 13,200円 委託料 4,027,050円	継続
I-1-(3)	ふらっと運動体操（通所型運動機能向上事業）	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	健康対策課	各々のペースで、メニューを考えて運動する雰囲気が定着している。また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりに繋がっている。今後は体力測定等、運動効果の検証を行い、リハビリ専門職との連携をとりながら、より充実した事業を展開していく必要がある。	【ふらっと運動体操】 延参加者数 1,830人 実施回数 95回	報償費 309,400円 委託料 1,004,800円	継続
I-1-(3)	よなGO！GO！体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなくなった関節や筋肉を動かす体操です。よなGOGO体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	健康対策課	施策単独での報告は無し (Ⅱ-1 米子市健康づくり地域サポーター養成事業に含まれるため)			継続
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実							
2 障がい者のスポーツ活動の推進							
I-2	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていたさわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ大会は中止となったため、開催経費の助成は行わなかった。アクアスロン皆生大会は規模を縮小して実施されたため、計画どおり助成を行い、障がい者の社会参加意欲の喚起に寄与することができた。今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、各大会の開催が見送られると、助成が行えない状態が続くことが予想される。	【さわやか車いすマラソン大会】 中止 【手をつなぐスポーツ大会】 中止 【アクアスロン皆生大会】 R2.10.11(本大会) ※前夜祭なし 参加者数 選手 51人、関係者等(ボランティア含) 180人	【アクアスロン皆生大会】 補助金 100,000円	継続
I-2	各種スポーツ・体操講座（障がい者福祉施設管理運営事業）	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、GOGO体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人となない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、GOGO体操等のスポーツを行った。運動不足になりがちな障がいがある人が、スポーツを通じて体を動かす喜びを知り、身体能力の向上と仲間との交流を図った。	グラウンドゴルフ 23回 ヨガ 10回 卓球 21回 車椅子バスケットボール 17回 風船バレーボール 6回 アーチェリー 45回 GOGO体操 22回	指定管理料 587,260円 (内訳) グラウンドゴルフ 117,300円 ヨガ 56,100円 卓球 153,300円 車椅子バスケットボール 30,600円 風船バレーボール 7,650円 アーチェリー 28,710円 GOGO体操 193,600円	継続
I-2	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ交流会(地域活動支援センターエポック翼主催)が中止となった。5月には「フレイル予防体操・よなごがええがん体操」を実施。6月に市内のフィットネスセンターを利用し、運動体験を実施した。	【スポーツ交流会】 中止 【フレイル予防体操・よなごがええがん体操】 R2.5.19 参加者数10人 【フィットネスセンター運動体験】 R2.6.18 参加者数11人	支出実績なし	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和2年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和2年度決算	次年度取組予定
基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興							
1 地域のスポーツ活動の推進							
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【スポーツ推進委員協議会】 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市民を対象とした体づくり歩け歩け大会は一部中止し、体カテスト会(2回)、ポッチャ交流大会は中止した。 機関紙の発行といった主管事業は例年通り実施した。 また、協議会内部の事業として、ニュースポーツ講習会(ポッチャ)、ストレッチ体操研修会を実施した。	【ポッチャ大会】 中止 【ポッチャ講習会】 参加者数 21人 【ストレッチ体操研修会】 参加者数 15人	スポーツ推進委員協議会運営費 2,010,000円	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	スポーツ振興課	新型コロナウイルスの感染防止のため、5月の一時期に利用を中止したが、学校運営に支障のない範囲で地域に開放した。今後も、学校体育施設の地域での開放に努め、市民スポーツの振興を図る。	【利用実績】 小学校 15,517件、325,790人 中学校 2,035件、29,216人 【学校当たり平均実績】 小学校(23校) 674件、14,164人 中学校(11校) 185件、2,656人	印刷製本費 96,800円 消耗品費 683,459円	継続
Ⅱ-1	やって未来や塾(米子市地域健康づくり応援事業)	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	健康対策課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 年3回運動等の内容についての支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動自粛要請のため、支援回数は少なくなった。 新規の立ち上げは1か所であった。	【新規活動支援】 1ヶ所、8回 延参加者数 46人 【継続活動支援】 28ヶ所、62回 延参加者数 857人	委託料 475,000円	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をしたい方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめ、地域での健康づくりを目指します。	健康対策課	地域サポート講座基礎編とスキルアップ編を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の予防対策をしながらいかに地域での活動につなげられるか講義及び話し合いを行った。 サポーターの平均年齢が高くなっており、地域によってはサポーターの数が減少していることから、若いサポーターの確保が必要である。	【基礎編】 1回 参加者数 100人 【スキルアップ編】 4回 参加者数 会場1: 14人 会場2: 50人 会場3: 27人 会場4: 20人	報償費 23,400円 消耗品費 22,641円 ガソリン代 10,091円 通信費 140,000円 委託料 32,000円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和2年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和2年度決算	次年度取組予定
2 スポーツに触れる機会の提供							
Ⅱ-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ振興課	毎年開催している、ガイナレ鳥取ホームタウンデーにおけるイベントが、Jリーグの定める新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、市長挨拶(応援メッセージ)や、市内の特産品の寄贈などを通して会場内で情報発信をおこなった。また、コロナ禍に伴う感染予防対策を行いながら会場にファンを呼び戻し、活動を継続させるため、地元で開催されるホームゲーム4試合の感染予防策(集客数の制限など)に対して補助金を交付し、クラブチームの運営活動を支援することにより、市民がスポーツに触れることができる環境作りをサポートし、地域の活性化を図ることができた。	【ガイナレホームタウンデーイベント】 R2.10.20(日) 中止	消耗品費:7,650円 事業運営負担金:3,042,000円	継続 (事業運営負担金については、コロナの状況等により判断)
Ⅱ-2	全国トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年数多くのボランティアの方が参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	第40回の記念大会であり、市町村対抗リレーなど新たな取組みも予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催中止となったため、大会維持に必要な経費の一部について助成を行うとともに、各種メディアを活用した機運醸成のための情報発信を行った。 当大会は市を代表する一大イベントとして定着しており、経済波及効果も大きいと、競技団体と連携しながら、今後も大会を維持し、安全・安心な形で開催できる方法を検討していく必要がある。	【全国トライアスロン皆生大会】 開催中止	事業費計 8,861,170円 (補助金)2,905,000円 (委託料)5,956,170円	継続
Ⅱ-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントです。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。 今後もこの地域を代表するスポーツツーリズムの大会として、鳥取県、大山町、日吉津村と連携を図り地域の魅力を発信していきたい。	【皆生・大山SEA TO SUMMIT2021】 開催中止	事業運営負担金 130,436円	継続
基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実							
1 競技力の向上							
Ⅲ-1	体育協会運営事業	米子市体育協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	米子市体育協会として、以下の事業を実施した。 ・9種目のスポーツ教室、5種目のスポーツ大会、2種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、1種目のスポーツ教室、4種目のスポーツ大会、6種目の市民体育祭を中止した。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。新型コロナウイルス感染症の影響で一部競技が中止となったことにより、参加者数が昨年度よりも減少した。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 1008人 【スポーツ表彰事業】 個人 82人 団体 15団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 新型コロナウイルス感染症の影響により、交付なし	米子市体育協会補助金 74,000円	継続
2 スポーツ施設等の充実							
Ⅲ-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所および老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ振興課	・市民体育館 県と共同で市民体育館、市営武道館、米子産業体育館の3施設を統廃合し、東山公園内に新体育館を整備する方針が決定。 新体育館の整備基本計画策定に向け、有識者や競技団体、地元住民の代表者等で構成する検討委員会を立ち上げ、3回に渡り審議を行い基本計画案を取りまとめるとともに、パブリックコメントを実施して広く意見を募った。(基本計画策定支援業務を外部委託) 令和3年度当初に基本計画を策定・公表するとともに、令和3年度中にPPP/PFI導入に向けた可能性調査を実施し、整備手法等を決定する。 ・東山庭球場 崩壊の危険性がある擁壁について、補修工事の実施設計を行った。 ・淀江球場 淀江球場の設備を充実させるための改修工事に向け、改修計画の策定、測量設計及び実施設計を行った。	【市民体育館】 鳥取県・米子市新体育館整備検討委員会 第1回:R2.7.27 委員9名 第2回:R2.10.21 委員11名 第3回:R3.1.27 委員11名 【東山庭球場】 東山庭球場擁壁詳細設計業務委託 【淀江球場】 淀江球場改修工事調査・基本設計業務 淀江球場改修建築主体工事実施設計業務	【鳥取県・米子市新体育館整備検討委員会開催費】 363,710円(委員報酬 201,600円,委員旅費 116,430円,会場使用料 45,680円) 【基本計画策定支援業務委託費】 3,850,000円 【東山庭球場擁壁詳細設計業務委託】 4,447,000円 【淀江球場改修工事調査・基本設計業務】 1,375,000円 【淀江球場改修建築主体工事実施設計業務】 4,015,000円	継続

《参考資料》

基本方針 I-1-(1) 子どものスポーツ活動の推進

【親子体づくり大会】

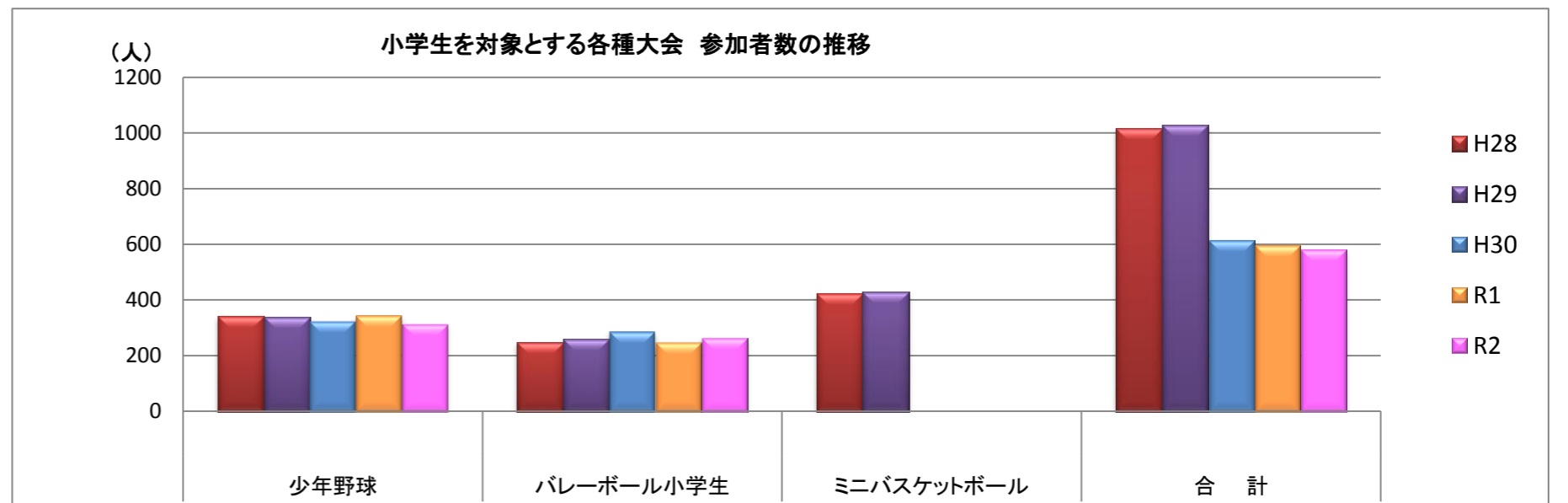
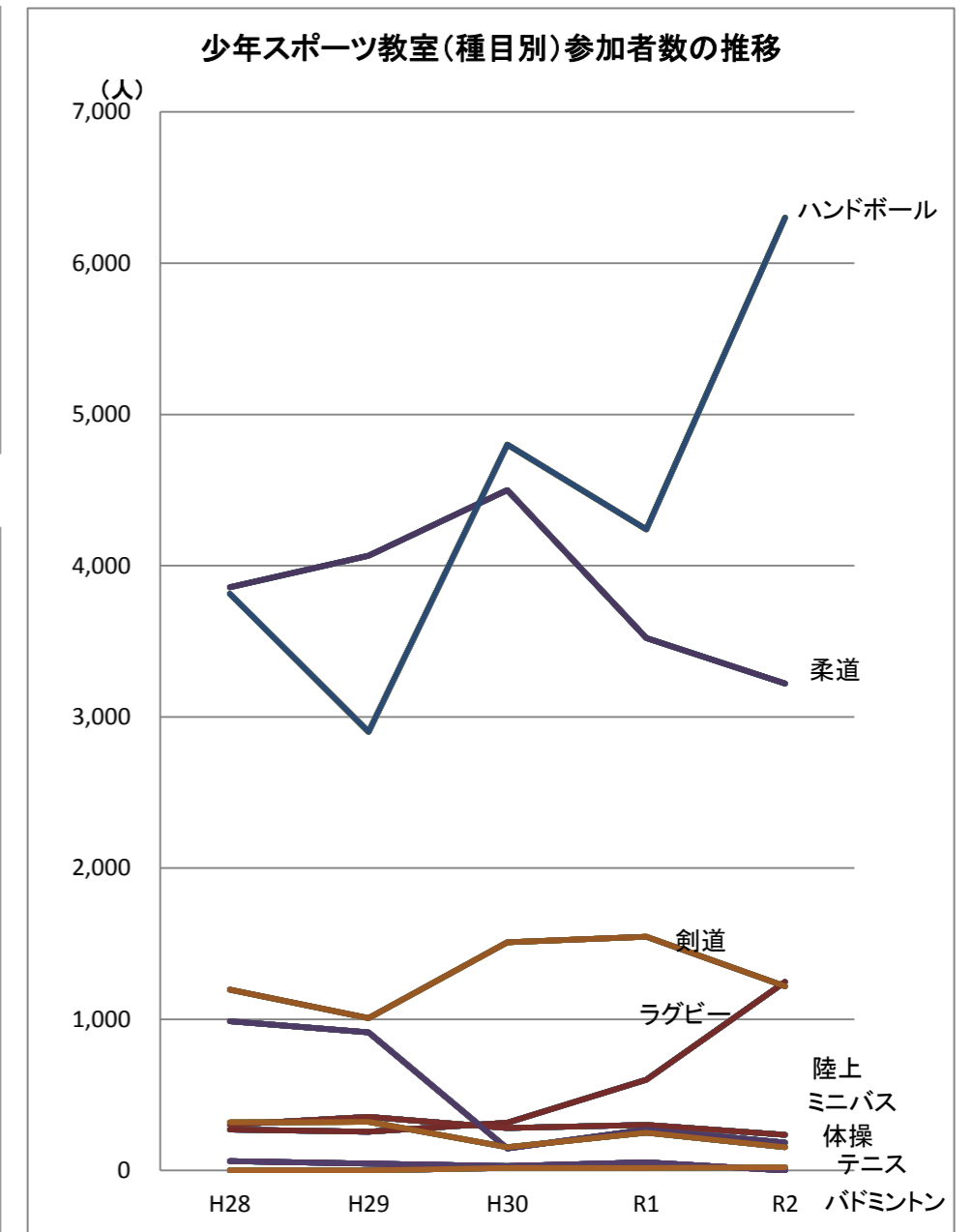
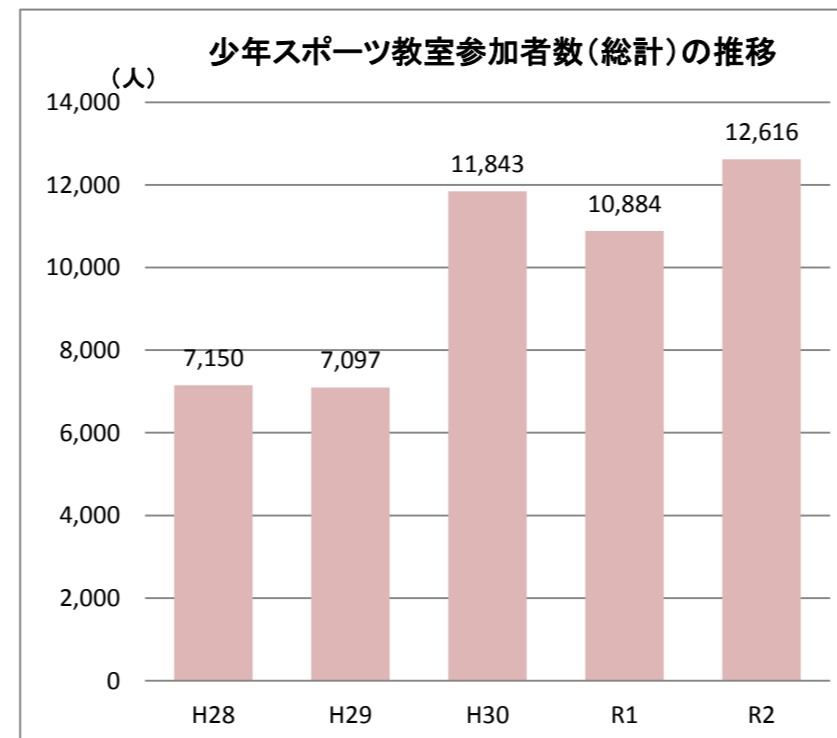
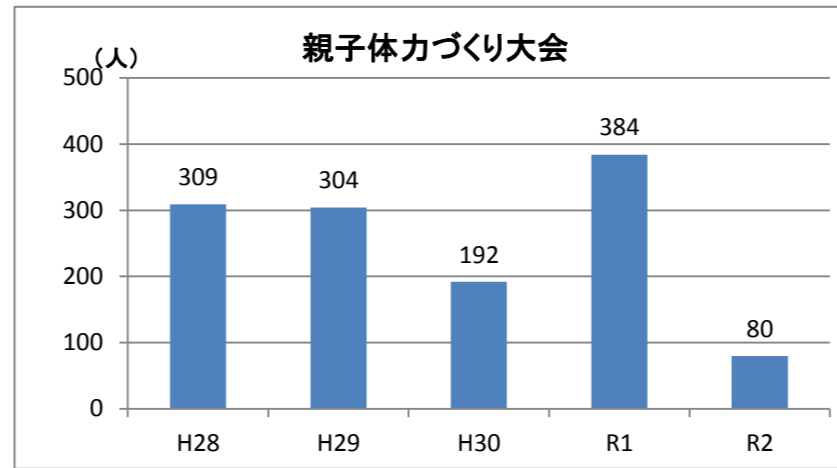
種目	区分	H28	H29	H30	R1	R2
親子体づくり大会	子ども	157	154	96	192	40
	親	152	150	96	192	40
	計	309	304	192	384	80

【少年スポーツ教室】

種目	区分	H28	H29	H30	R1	R2
ラグビー	回数	27	25	27	31	33
	人数	271	257	316	601	1,247
柔道	回数	137	133	140	128	128
	人数	3,857	4,066	4,500	3,521	3,220
剣道	回数	127	120	138	123	120
	人数	1,195	1,007	1,510	1,545	1,218
ハンドボール	回数	104	98	128	118	126
	人数	3,814	2,900	4,800	4,240	6,300
陸上	回数	12	12	9	10	8
	人数	304	355	282	302	237
ミニバスケットボール	回数	10	9	10	10	9
	人数	988	914	145	271	184
体操	回数	10	10	9	8	7
	人数	318	322	155	251	154
テニス	回数	3	3	3	3	1
	人数	155	131	88	81	34
バドミントン	回数	3	3	2	3	中止
	人数	62	45	29	54	中止
空手道(H30~)	回数			3	3	3
	人数			18	18	22
合計	回数	329	315	469	437	435
	人数	7,150	7,097	11,843	10,884	12,616

【小学生を対象とする各種大会の開催】

種目	区分	H28	H29	H30	R1	R2
少年野球	チーム数	17	17	16	17	21
	人数	343	339	326	346	316
バレーボール小学生	チーム数	25	25	30	26	29
	人数	249	260	289	250	267
ミニバスケットボール	チーム数	24	24	0	0	0
	人数	423	429	0	0	0
合計	チーム数	66	66	46	43	50
	人数	1,015	1,028	615	596	583

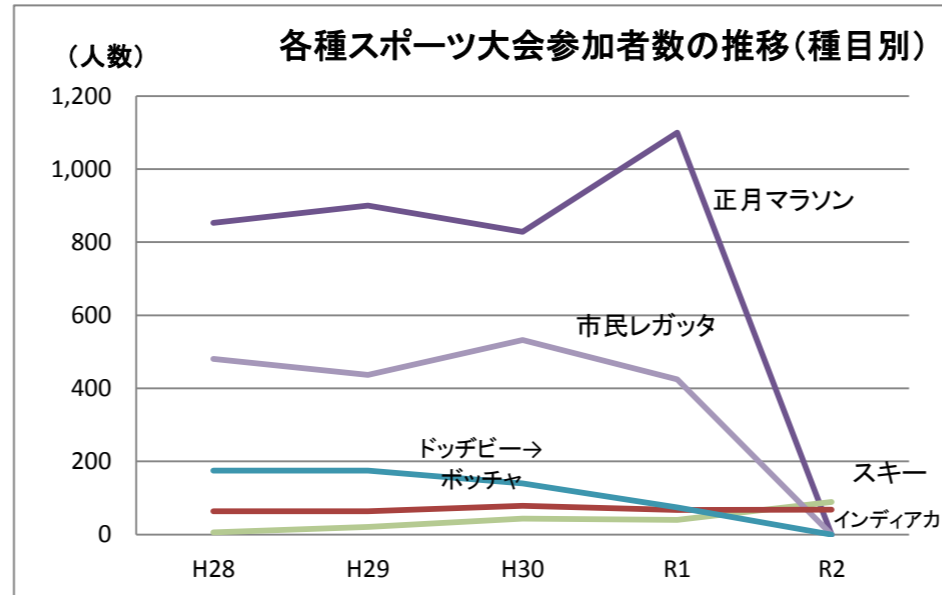


《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(2) 成年期からのスポーツ活動の推進

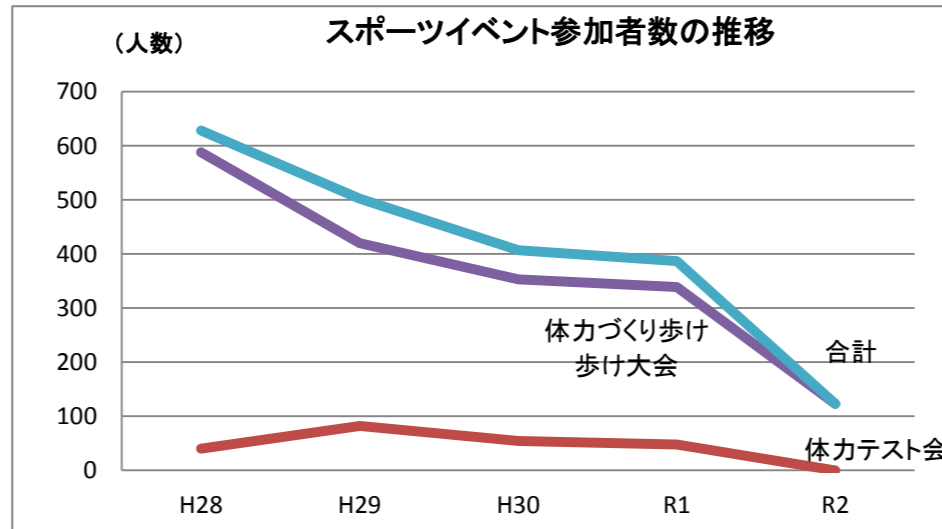
【各種スポーツ大会】

種目	区分	H28	H29	H30	R1	R2
市民レガッタ	チーム数	80	72	88	67	
	人数	481	437	532	425	
インディアカ	チーム数	13	13	15	12	12
	人数	64	64	79	67	68
ドッチビー大会(～H30) ポッチャ(R1～)	チーム数	11	12	10	21	
	人数	175	175	140	74	
正月マラソン	チーム数					
	人数	853	900	828	1,100	
スキー	チーム数					
	人数	6	21	44	40	89
合計	チーム数	104	97	113	100	12
	人数	1,579	1,597	1,623	1,706	157



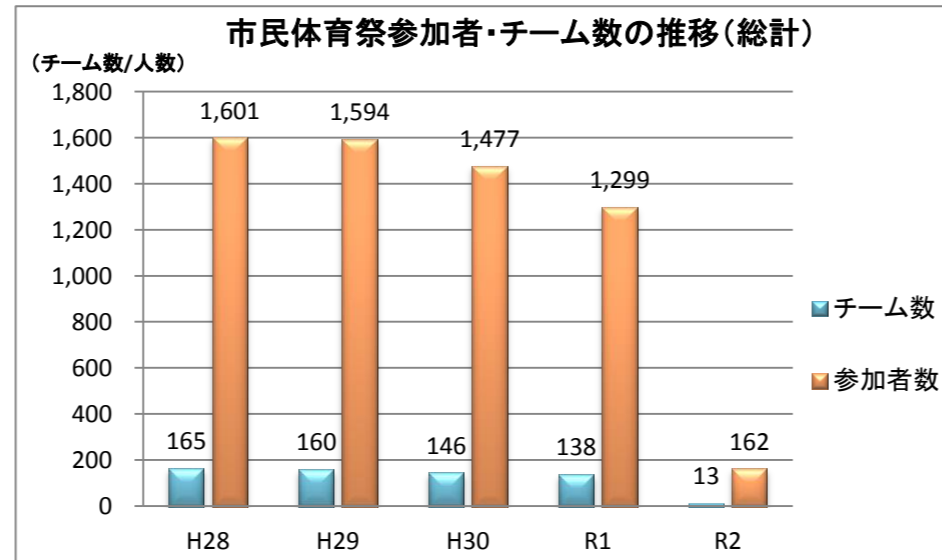
【体カづくり歩け歩け大会・体カテスト会】

種目	区分	H28	H29	H30	R1	R2
体カテスト会	回数	2	2	2	2	
	人数	40	82	54	48	
体カづくり歩け歩け大会	回数	12	12	12	11	4
	人数	588	420	353	339	123
合計	回数					
	人数	628	502	407	387	123



【市民体育祭】

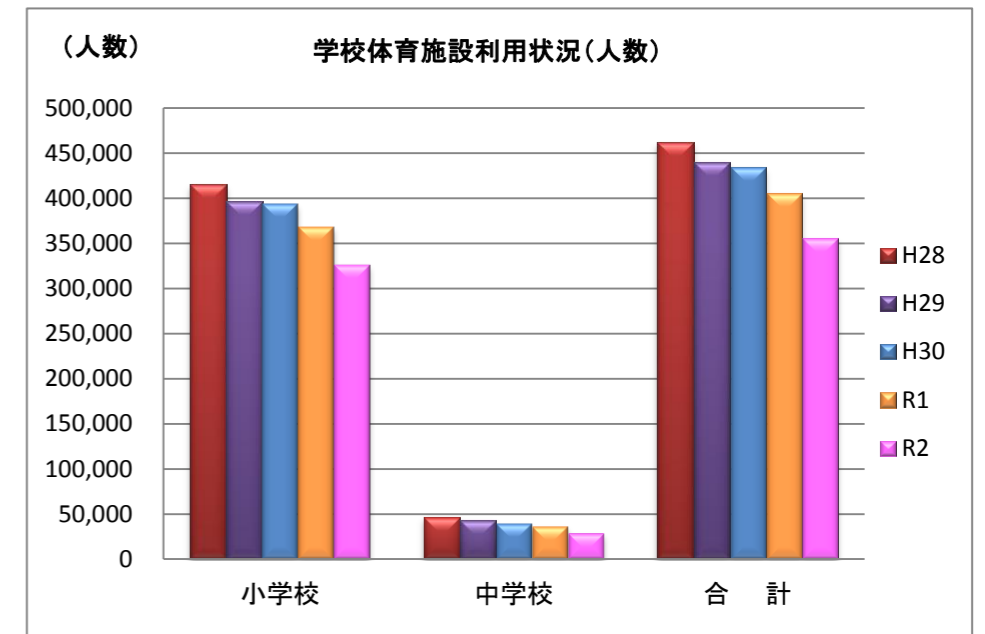
種目	区分	H28	H29	H30	R1	R2
ソフトボール	チーム数	6	8	7	6	
	人数	135	170	152	135	
卓球	チーム数	9	13	11	11	
	人数	120	160	146	147	
バドミントン	チーム数	8	8	5	4	7
	人数	57	72	52	33	47
バレーボール	チーム数	14	14	14	14	
	人数	202	210	203	172	
ソフトテニス	チーム数	10	12	11	10	
	人数	179	193	187	150	
グラウンドゴルフ	チーム数	91	79	74	70	
	人数	523	464	417	378	
野球	チーム数	14	11	10	10	6
	人数	314	241	243	207	115
ゲートボール	チーム数	13	15	14	13	
	人数	71	84	77	77	
合計	チーム数	165	160	146	138	13
	人数	1,601	1,594	1,477	1,299	162



基本方針Ⅱ-1 地域のスポーツ活動の推進

【学校体育施設開放事業】

種目	区分	H28	H29	H30	R1	R2
小学校	チーム数	18,374	18,413	18,036	16,558	15,517
	人数	415,651	396,655	393,837	368,440	325,790
中学校	チーム数	3,017	3,054	2,808	2,449	2,035
	人数	46,524	43,383	40,208	37,018	29,216
合計	チーム数	21,391	21,467	20,844	19,007	17,552
	人数	462,175	440,038	434,045	405,458	355,006



基本方針Ⅲ-1 競技力の向上

【体育協会運営事業/体育表彰】

受賞名	種別	H28	H29	H30	R1	R2
体育功労賞	個人	7	10	8	7	7
優秀指導者賞	個人	5	3	3	4	2
スポーツ栄誉賞	個人	2	5	7	7	2
スポーツ特別賞	個人	4	5	4	2	2
スポーツ賞	個人	50	57	67	42	8
スポーツ賞	団体	19	12	14	13	3
スポーツ奨励賞	個人	105	119	114	113	61
スポーツ奨励賞	団体	32	46	30	45	12
合計	個人	173	199	203	175	82
	団体	51	58	44	58	15